

## 人と水の物語



### 大阪の歴史を今に伝える 安治川周辺のかずかずの史跡。

明治元年（1868）、政府は安治川と木津川の分岐点にあたる川口の地に港を設けました。周辺の外国人居留地にはガス燈が灯り、数多くの西洋建築が建ち、大阪における文明開化発祥の地として大いに賑わいました。



**河村瑞賢紀功碑**  
安治川開削の功勞を讃え、大正4年に建てられたものです。



**川口外国人居留地跡**  
居留地にはパンや洋服などを商う店が軒を並べ、賑わいました。

此花区



**大阪府庁跡**  
西欧の文物制度を採り入れやすくするため明治5年、この地に建設されました。



**安治川トンネル**  
対岸に渡るための海底トンネル。今も1日約6000人の市民が利用しています。



**川口キリスト教会**  
明治6年に創建、大正4年に再建されたレンガづくりの建物です。

